

もっとと

「もっと！」
本をよみたいおともだちのために、
図書館のひとがいろいろなテーマで、
本をえらびました

テーマ「本」

本を読む。それはおはなしの世界を旅すること。
知らなかったことを知ること。ページをめくつた先で、新しいことに出会えますように。



齊藤 洋/作
田中 六大/絵
講談社
2015

としょかんへいこう (講談社の創作絵本)

としょかんってどんなところだろう？そこにはなにがあって、どんなことができるんだろう？めいろやクイズ、まちがいさがしにちょうせんして、としょかんのつかいかたをおぼえよう。



レイン・スミス/作
青山 南/訳
BL出版
2011

これは本

パソコンがとくいなロバくんは、本が好きなサルくんに本の使い方方を聞きます。どうやってスクロールするの？メールできる？サルくんは答えます。できない、だってこれは本だから。ロバくんとサルくんのやりとりが楽しい絵本です。



真山 みな子/作
山西 ゲンイチ/絵
金の星社
2022

ともだちはしおりのこぶた

まゆが図書館でもらったしおりを使っていると、こぶたのパーもんが飛び出してきた！パーもんは、初めてひとりで本を読む子に使ってもらう時だけ、おしゃべりができるといいます。まゆは入院中のママが帰ってきたら、おはなしを教えてあげるために本を読みます。



クラウディア・ミルズ/作
若林 千鶴/訳
堀川 理万子/絵
文溪堂
2014

読書マラソン、 チャンピオンはだれ？

本好きのケルシーは、学校で行われる読書マラソンで、チャンピオンを目指します。そして、校長先生は全校生徒の読書数が2000冊を超えたら、自慢のあごひげをそるとみんなに約束します。さて、結果はどうだったかな？あなたもケルシーが読んだ本を読みたくなっちゃうかも。



読書工房/編著
国土社
2023

読書バリアフリー 見つけよう！

自分にあった読書のカタチ

みなさんは本が読みにくいと感じたことはありませんか？この本では、本を読みやすくするための道具やサービスを紹介しています。図書館で貸出しているものもあるので、使ってみたいものがあったら、スタッフに聞いてみてね。



マーク・アラン・スタマティー/作
徳永 里砂/訳
国書刊行会
2012

3万冊の本を救った アリーヤさんの大作戦 図書館員の本当のお話

図書館ではたらくアリーヤさん。彼女は戦争から図書館の本を守ろうと心に決めました。政府にも働きかけましたが、役人は話を聞いてくれません。自分たちの文化と歴史を守るために、彼女たちはどのような作戦を立てたのでしょうか？イラク戦争で実際にあったおはなしです。